

付 録

Web公開情報（2008年3月31日現在）

名 称	URL	備 考
土壌モノリスデータベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/monolith/index.htm	一部公開
土壌モノリス作成法改訂版	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/method.pdf	一般公開
土壌保全調査事業等優良成果	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/TEITENsokuho/index.html	一般公開
土性図目録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/Fesca.pdf	一般公開
農耕地土壌分類（第三次改訂版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/laboratory/Informations.html	一般公開
農耕地土壌分類（第三次改訂版）英語版	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/soil/Document/Classification.pdf	一般公開
農環研標本館所蔵タイプ標本データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/inssys/typelst.htm	一部公開
三橋ノート画像データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/inssys/m_note01.html	一部公開
日本産オオアブラムシ属のチェックリスト及び種の検索表	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/key_cinara/main.htm	一般公開
日本産ヒョウタンカスミカメ族の図説検索	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/insect/illust_keys/pilophorini/key_pilophorini01.html	一般公開
マメハモグリバエ寄生蜂の図解検索	http://cse.cryo.affrc.go.jp/konishi/main.htm	一般公開
微生物インベントリー (<i>microForce</i>)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/microorg/index.html	一般公開
農業環境技術研究所所蔵微生物さく葉標本目録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/microorg/specimen/index.html	一般公開

名 称	URL	備 考
日本野生植物寄生・共生菌類目録（日本語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/mokuroku.html	一般公開
同（英語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/mokuroku-e.html	一般公開
日本産糸状菌類図鑑（日本語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/zukan.html	一般公開
同（英語版）	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/zukan-e.html	一般公開
農業環境用語事典	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/glossary/index.html	一般公開
農業環境モニタリングマニュアル	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/mmanual/index.html	一般公開
植物の金属元素含量に関するデータ集録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/hvymetal/index.html	一般公開
土壌線虫画像データベース；属レベル簡易同定のための形質一覧表	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/nemapics/	一般公開
栽培歴データベース	http://dccw.dc.affrc.go.jp/	一般公開
エコシステムデータベース（英語版）	http://ecomdb.niaes.affrc.go.jp/	一般公開
アジア・太平洋外来生物データベース（APASD）（英語版）	http://apasd-niaes.dc.affrc.go.jp/	一般公開
外来植物図鑑（国が特定外来生物、要注外来生物に指定した植物）	http://www.niaes.affrc.go.jp/project/plant_alien/book.html	一般公開
自然植生の純一次生産力と農業気候資源の分布	http://www.niaes.affrc.go.jp/topics/g7/clmres.html	一般公開

NRICセミナー講演要旨

第1回 5月16日

1) 農耕地土壌分類第3次案による土壌図編集

Revising soil maps using the third approximation of the classification of cultivated soils in Japan
井上 恒久

既往の全国の土壌図は、農耕地土壌分類2次案に従って作成されているが、調査地点の土壌分類を2次案→3次案に読み替える作業をGISを利用することにより迅速かつ精確に行うことを試みる。

2) 農耕地における窒素流出リスクの評価法の開発—窒素流出量の算定方法の検討—

Development of the evaluation technique for the nitrogen outflow risk of agricultural land in Japan
-Development and validation of the numerical model-
遠藤 明

「農耕地の過剰窒素は農地系外にどの程度流出するか？」ということを知るためには、農耕地の窒素収支、土壌・気象条件等から1年間の窒素流出量を算定することが必要である。そこで、今回、有限要素法汎用ソルバーを用いた窒素流出量算定数値モデルを開発し、キャピラリーライシメータ試験結果を用いてモデルの検証を行った。採水量と硝酸態窒素濃度に対応する相関係数がそれぞれ高い数値を示していたことから、モデルの精度は良好と評価した。

第2回 6月20日

1) 農耕地土壌の炭素量の変動

Soil organic carbon of arable soils in Japan
中井 信

1979年から2002年までの、日本の農耕地土壌中の炭素含量の変動の解析経過を報告する。データの整備が不完全なため途中経過であるが、土壌炭素の変動、投与資材や土壌管理との関係を調べた結果である。

2) 土地利用の変動から環境について考える

Environment affected by land use change
神山 和則

農業活動の変化にともなって土地利用も変動する。過去の地図を基に長期的な土地利用の変動を調べ、色々な環境に及ぼした影響を評価した結果を報告する。

第3回 7月18日

1) カザフスタン北部における土壌有機炭素収支の時空間変動解析と持続的農業の確立に関する研究

Analysis of spatial and temporal variation of soil organic carbon budget and its application to sustainable agriculture in northern Kazakhstan

高田 裕介

カザフスタン北部穀作地帯において、土壌有機物(SOM)資源の減耗が問題となっている。本研究では、州域での SOM 資源の地図化手法の確立、土壌有機炭素(SOC)動態のモデル化、SOC 収支の時空間変動解析を地理情報システム上で行い、SOM 減耗を抑制するための輪作体系の提言を行った。SOC 収支の時空間変動解析の結果、休閑を含む輪作体系で SOM の減耗が予測され、休閑頻度の増加と共に SOM の減耗が増加すると示唆された。本地域において SOM の減耗を抑制する輪作体系として、休閑の排除、または採草地の導入が推奨された。

2) 国際集会参加報告(国際影響評価学会(IAIA))

Consequence and future perspective of development a natural resources inventory and its utilization - a pragmatic implication of IAIA07 Theme Forum

大倉 利明

6月ソウル(韓国)にて開催された IAIA 大会に参加した。さらに、天然資源インベントリ一情報の利活用というテーマでフォーラムの座長を務めたので、その概要を報告する。

第4回 9月21日

1) 家畜ふん尿堆肥の成分の経年変化と家畜ふん尿堆肥作成時の窒素揮散量の再計算

Recent trend of nutrient ingredients in livestock manure and recalculation of nitrogen volatilization rate during composting of livestock excreta

三島 慎一郎

家畜ふん尿堆肥は、近年乾燥化が進み、肥料成分含有率が上昇傾向にあると言われている。しかしそのような比較は、ほとんどの場合10年程前の前回調査との比較によるものであった。そこで今回、家畜ふん尿堆肥の採集年のわかっている文献を収集し、まとめる事で、近年の家畜ふん尿堆肥の含水率、肥料成分含有率に経年変化があるかどうかを調べた。また求められた結果より、排泄される糞尿の堆肥化過程で揮散する窒素量を再計算した。

2) 土壌の特性と農薬の動態

Relationship between soil properties and environmental fate of pesticides

稲生 圭哉

農耕地等で使用された農薬成分の大部分は土壌表面に達し、土壌中でしだいに分解し消失するが、その一部が河川などの水系に移行することによる環境リスクが懸念されている。農薬の土壌残留量や圃場外の移行・拡散量は、農薬の物理化学的性状のみならず土壌の特性によっても大きく影響を受ける。そこで、土壌の物理性・化学性が農薬の土壌吸着性や移動性に及ぼす影響について解説し、土壌インベントリを有効に活用した農薬の動態予測の取り組みについて

て紹介する。

第5回 10月17日

1) カスミカメムシ科の分類学的研究における近年の知見

Recent knowledge on taxonomy of the family Miridae (Heteroptera)

中谷 至伸

カスミカメムシ科はカメムシ類（半翅目異翅亜目）の中で最大の科であり、日本からは400種あまり、世界中では2万種以上存在するであろうといわれている。演者はこれまで日本国内を中心にカスミカメムシ科について分類学的研究を行ってきたが、近年いくつかの知見をえられたので、これについて報告する。

2) 長崎県で最近問題となっている病害虫について

Recent insect pest in Nagasaki prefecture

山田 将樹（長崎県病害虫防除所）

演者は、9月から11月まで、農業環境インベントリセンターの昆虫標本館で昆虫の分類について研修を受けている。本セミナーでは、長崎県病害虫防除所の業務内容と現在長崎県内で問題となっている病害虫について紹介する。

第6回 11月21日

1) 昆虫の分類と新たな害虫の発見

Insect taxonomy and the discovery of new insect pests

吉松 慎一

世界や日本の昆虫分類学の現状を最初にお話したい。新しい作物を導入することや新たな栽培法を適用することなどで新たな害虫が発生することがある。日本の害虫にはどのようなグループのものが多くのかを紹介し、さらに最近どういう種類の新害虫がどういう原因で増えているのかを考えてみたい。

2) 転換畑での大豆生産における土壌障害（土壌クラスト、湿性など）について

Soil restrictions, i.e. soil crust, aquic condition, on soybean production in paddy fields

小原 洋

転換畑の大豆作では、出芽不良、湿害などが収量や品質の低下要因の一部としてあげられている。北陸研究センター在籍中、出芽阻害要因の一つとして注目されている土壌クラストについて、人工降雨で生成したクラストの性質と土壌の性質（一般理化学性、粘土鉱物）の関係を調べた。また、上越地域での大豆品質（しわ粒）と土壌の性質の関係、大豆の根とグライ層の関係などを検討した。今回のゼミでは、これらの概要について紹介する。

第7回 12月10日

1) 電子国土Webシステムによるインベントリー情報の発信と共有

Transmission and sharing of inventory information by CyberJapan Web system

上田 義治

地理情報の発信と共有を推進するために国土地理院が作成提供している電子国土 Web システムの概要と、これを利用した農業環境インベントリー情報の発信の試みを紹介する。

2) 土壌情報の社会的利用

Utilization of Soil Information except for Agriculture

谷山 一郎

土壌情報が、地球温暖化対策、環境アセスメント、リスク指標、生物多様性指標や農業環境支払制度などにどのように使われているかを概説し、問題点と今後の研究の必要性を指摘する。

第8回 3月26日

農耕地の様々な種類の土壌調査・土壌図作成に関して

Several kinds of soil surveys in scales and mapping of the soils

井上 恒久

農技研→九州農試→豊橋指定試験→農環研と勤めてきて、その間に関った様々な種類の土壌調査と作成した土壌図について概説する。

研修会：土壌調査法現地研修会

テーマ：圃場管理の違いが低地水田土壌に及ぼす影響と土壌調査法

共 催：(独) 農業環境技術研究所、土壌保全調査事業全国協議会、(財) 日本土壌協会、
新潟県農業総合試験場

日 時：平成19年度10月4日(木)～5日(金)

場 所：新潟県長岡市内

参加者：42名(大学1名、独法2名、都道府県農業試験場36名、土壌協会2名、北陸農政局1名)

日 程：

10月4日(1日目)

土壌断面調査法現地研修(長岡市内水田2圃場)

講師：(独) 農業環境技術研究所農業環境インベントリーセンター 大倉利明・中井 信

10月5日(2日目)

関連情報研修(新潟農総研会議室)

- | | |
|----------------------------|-------------|
| ① 低地水田土壌の生成と土壌管理 | 中井 信(農環研) |
| ② 暗渠施工の有無が圃場からのメタン発生に及ぼす影響 | 白鳥 豊(新潟農総研) |
| ③ 中越大震災における被害状況と対策技術 | 本間利光(新潟農総研) |
| ④ 水稲と大豆における緩効性肥料の地力窒素代替効果 | 高橋龍彦(新潟大学) |



土壌断面調査法の現地研修



関連情報研修

備考：本年の研修断面は暗渠排水の効果が明瞭に現れており、低地土壌の特性を説明するのに最適な土壌であった。次年度は岡山県で開催する予定である。

研究成果の発表

(1) 査読論文

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
三重県の茶園における非アロ フェン質黒ボク土および黄色 土の生産力特性	安田典夫, 出岡裕哉, 中 井信	ペドロジスト	51	2- 13	2007. 6
耕作放棄地の分布と潜在生産 力の推定	佐々木寛幸, 神山和則, 松浦庄司	日本草地学会誌	53 (3)	189- 194	2007. 10
Simulation model of pesticide fate and transport in paddy environment for ecological risk assessment and management	Keiia Inao, Hirozumi Watanabe, Dimitrios G. Kaprouzas, Ettore Capri	Japan Agricultural Research Quarterly	42 (1)	13- 21	2008. 1
ダイズ子実の縮緬じわ発生に 及ぼす切葉、摘菜処理の影響	関口哲生, 小原洋, 新良 力也, 亀川健一, 田淵公 清	日本土壌肥料学 雑誌	79 (1)	81- 85	2008. 2
家畜ふん堆肥と化学肥料を併 用したキャベツ栽培試験圃場 における硝酸態窒素の現存量 評価	庄司正, 塚本雅俊, 神山 和則, 中井信, 大倉利明, 鹿沼信行, 戸上和樹, 加 部武, 畠山雅直, 高橋朋 子, 山田正幸, 小柴守	群馬県農業技術 センター研究報 告	4	3- 4	2007. 4
Relationship between nitrogen and phosphate surplus from agricultural production and river water quality in two types of production structure	Shinichiro Mishima, Satoru Taniguchi, Kazunori Kohyama, Mitsuo Komada	Soil Science and Plant Nutrition	53 (4)	318- 327	2007. 8
凍結融解過程におけるケイ酸 の動態解析-高速液体クロマ トグラフィーによる検討-	駒田充生, 谷口悟, 板橋 直, 三島慎一郎	日本土壌肥料学 雑誌	78 (3)	313- 315	2007. 6

(2) その他の論文等

表 題	著 者	表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
EU の土壌の実態と農業	谷山一郎	農業技術体系・ 土壌編追録 (農文協)		16-2	2007. 4

表題	著者	表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
肥料・煙害展示室	谷山一郎	インベントリー	6	38- 39	2007. 12
NRS 土壌図と土壌調査・土 壌図資料の Web 公開	中井信	インベントリー	6	17- 18	2007. 12
土壌モノリス館	中井信, 大倉利明, 戸上 和樹	インベントリー	6	26- 37	2007. 12
渥美半島地域を対象とした農 耕地土壌分類第3次改訂版に 基づくデジタル農耕地土壌図 の作成	井上恒久, 中井信	研究成果情報 (農環研)	24	22- 23	2008. 3
1km メッシュ作物別栽培面積 データベース	神山和則	インベントリー	6	14- 16	2007. 12
「農業環境リスク指標」研究 とインベントリー	神山和則	インベントリー	6	1	2007. 12
北海道農業研究センターから 譲渡された土壌試料	神山和則, 大倉利明	インベントリー	6	19- 21	2007. 12
水質環境への影響の評価	神山和則	家畜排せつ物利 活用方策評価検 討システム構築 事業報告書		213- 219	2008. 3
1km メッシュ単位で推定した 農業統計のデータベース化	神山和則	研究成果情報 (農環研)	24	42- 43	2008. 3
米国の土壌保全調査政策	大倉利明	ペドロジスト	51 (2)	137- 140	2007. 6
Q12 大豆の出芽・苗立ちに影 響する土壌の特性(クラスト) とその対策は?, 収量・品質 の向上と安定生産のための大 豆づくり	小原 洋	Q&A-大豆 300A 技術を導入した 大豆生産に向け て- (農研機構)		29- 30	2007. 3
2006 年新潟県上越地域の大豆品質(しわ粒)と圃場・土 壌条件の関係	小原洋, 関口哲生, 大野 智史	新潟アグノロミ ー	43	52- 59	2007. 12
作物被害を引き起こす新たな 害虫	吉松慎一	農業技術	62 (10)	442- 446	2007. 10
ギンスジアカヤガの日本から 2 頭目の記録と雌雄交尾 器形態	吉松慎一	蛾類通信	245	365- 366	2007.

付録：研究成果の発表

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
菌床シイタケの新害虫をヤガ科ナミグルマアツバと同定	吉松慎一, 仲田幸樹	インベントリー	6	8-9	2007.12
菌床シイタケの新害虫はナミグルマアツ	吉松慎一	農業環境技術研究所環境報告書2007		14	2008.3
River water qualities and types of agricultural production - a comparison between paddy farming and intensive livestock production areas	Shin-Ichiro Mishima	WIT transactions on ecology and the environment (WIT Press)	106	417-424	2007.
わが国における窒素・リン酸・重金属のフローとその環境負荷の評価	三島慎一郎	日本土壌肥料学雑誌	78 (5)	449-450	2007.10
土壌肥沃度の評価・管理に関する新展開：土壌窒素と農業・環境	小崎 隆, 渡辺和彦, 佐野修司, 矢内純太, 鳥山和伸, 松本真悟, 阿江教治, 三島慎一郎	日本土壌肥料学雑誌	79 (1)	113-118	2008.2
農業環境技術研究所・標本シリーズ 3：中島秀雄コレクション	吉松慎一, 中谷至伸, 安田耕司	インベントリー	6	38-39	2007.12
A Web-Based Illustrated Key to Japanese Species of the Tribe Pilophorini (Hemiptera, Miridae)	Yukinobu Nakatani	NIAES Annual Report 2007		22	2008.3
Environmental Characteristics of Irrigation Ponds as Dragonfly Habitats	Kouichi Tanaka, Takehiko Yamanaka, Nbnori Iwasaki, David.S. Sprague, Yukinobu Nakatani	NIAES Annual Report 2007		14-16	2008.3
トンボの生息環境を守るためのため池のあり方	田中幸一, 山中武彦, 岩崎亘典, David S. Sprague, 中谷至伸	農環研ニュース	76	5-6	2007.10
トンボの生息環境を守るためのため池のあり方	田中幸一, 山中武彦, 岩崎亘典, David S. Sprague, 中谷至伸	農業環境技術研究所年報	24	10-12	2008.3

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
水田農薬の動態予測モデルとその活用-I.水田圃場における動態予測モデルとその活用例	渡邊裕純, 稲生圭哉	今月の農業		272- 279	2007. 8
水田農薬の動態予測モデルとその活用 -I.水田集水域における動態予測モデルとその活用例	稲生圭哉, 渡邊裕純, 田中拓	今月の農業		82- 89	2007. 9

(3) 口頭発表

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
メッシュデータを利用した土壌侵食量推定マップの作成	神山和則, 谷山一郎, 大倉利明, 中井信	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	17	2007. 8
土壌情報の社会的利用	谷山一郎, 神山和則, 中井信, 上田義治	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	198	2007. 8
深層土壌調査法および土壌分類における深層土壌の位置づけ	大倉利明, 中井信, 神山和則, 谷山一郎	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	114	2007. 8
段丘土壌における鉛の起源の推定	戸上和樹, 川崎晃, 中井信, 大倉利明	2007年度日本土壌肥料学会東北支部会福島大会講演要旨集		12	2007. 12
Development of soil-crop inventory on heavy metals in Japan	Makoto Nakai	Proceedings of International Workshop of ESAFS 8		75- 82	2007. 10
東海地方の段丘土壌における元素の消長	戸上和樹, 大倉利明, 山本光宣, 松本昌直, 中井信	日本ペドロロジー学会 2007年度大会講演要旨集		37	2007. 4
農耕地土壌炭素の変動(2)	中井 信, 金澤健二	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	115	2007. 8
Concept of Natural Resources Inventory and Framework of Utilization	Toshiaki Ohkura, Ryunosuke Hamada	Abstracts 27th Annual Conference of International Association for Impact Assessment		106	2007. 6

付録：研究成果の発表

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
2006年新潟県上越地域の大豆品質（しわ粒）と土壌条件の関	小原洋, 関口哲生, 大野智史	日本ペドロロジー学会 2007年度大会講演要旨集		23	2007. 4
水田（転換畑）でのクラスト生成と土壌条件の関係 作土の砕土率、土壌水分とクラスト生成の関係について	小原洋, 関口哲生, 大野智史, 細川寿	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	116	2007. 8
転換畑大豆作の土壌物理的問題（クラスト等について）	小原洋	日本作物学会紀事	77 別1	342- 343	2007. 9
ふん尿利用計画ソフト「AMAFE」の開発と普及	松中照夫, 三枝俊哉, 佐々木寛幸, 松本武彦, 神山和則, 古館明洋, 三浦周	北海道草地研究会賞受賞論文			2007. 12
黒ボク土および非黒ボク土農耕地からの無機態窒素の年間浸透流出量の算定-農業環境リスク指標値の算定に向けて	遠藤明, 三島慎一郎, 神山和則	2007年度日本土壌肥料学会関東支部大会講演要旨集		20	2007. 11
採草地の炭素収支に及ぼす堆肥投入の影響	松浦庄司, 宮田明, 間野正美, 寶示戸雅之, 森田昭憲, 宮地朋子, 波多野隆介, 神山和則, 佐々木寛幸	農業環境工学関連学会 2007年合同大会プログラム		81	2007. 9
Occurrence of <i>Opogona sacchari</i> in Japan	Shin-ichi Yoshimatsu	NIAES International Symposium Invasive Alien Species in Monsoon Asia: Status and Control			2007. 10
<i>Ephelis japonica</i> , a causal fungus of black choke disease and an epiphytic symbiont of C4 grasses, confers resistance against herbivorous pests and environmental stress to host plants	Takao Tsukihoshi, Ryuichi Uegaki, Shin-ichi Yoshimatsu, Koya Sugawara	5th International Symposium on the Molecular Breeding of Forage and Turf MBFT			2007. 7

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
The construction of an image database of Lepidoptera collections in Japan, "Network construction for the establishment of insect inventory in Tropical Asia (TAIIV)"	Utsugi Jinbo, Toshiya Hirowatari, Akinori Nakanishi, Kyoichiro Ueda, Osamu Yata, Shin-ichi Yoshimatsu, Motomi Ito	Program of International Symposium "tropic Asian Insect Inventory" (TAIIV) Project		58- 59	2007 6.
農業環境技術研究所が最近公開した昆虫類関連のデータベースと今後の戦略	吉松慎一, 仲谷至伸, 上田義治, 安田耕司	日本昆虫学会第 67 回大会講演 要旨		182	2007. 7
野菜におけるニセタマナヤガの発生および合成性フェロモントラップによる成虫捕獲調査	栗原潤, 桑澤久仁厚, 豊嶋悟郎, 伊原竜夫, 萩原保身, 猪野正明, 吉松慎一	第 52 回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨		182	2008. 3
トンボの種構成に影響する溜め池の環境	田中幸一, 浜崎健児, 山中武彦, 中谷至伸, 岩崎亘典	日本昆虫学会第 67 回大会講演 要旨		76	2007. 7
広域調査によるトンボが好む生息環境の評価と生息地の地理的制約の解明 茨城県南部での研究例と今後の展望	山中武彦, 田中幸一, 浜崎健児, 岩崎亘典, David S. Sprague, 中谷至伸	2007 年度日本蜻蛉学会大会研究発表要旨集		15	2007. 11
クロヒョウタンカスミカメと近縁種について (半翅目: カスミカメムシ科)	中谷至伸	日本昆虫学会第 67 回大会講演 要旨		88	2007. 7
光異性化および代謝分解を考慮した PADDY モデルの開発 -除草剤ピリミノバックメチルへの適用-	稲生圭哉, 水谷浩之, 與語靖洋, 堀尾剛, 石原悟, 池田光政	日本農薬学会講 演要旨集	32	61	2008. 3
除草剤ピリミノバックメチルの水田における挙動予測	水谷浩之, 稲生圭哉, 池田光政	日本農薬学会第 講演要旨集	32	62	2008. 3
水中の農薬の生態系影響評価における暴露評価の重要性, 「農薬のリスク管理に向けて」-農薬分析に何が求められるか?-	堀尾剛, 稲生圭哉	第 24 回農薬環境動態研究会資料		25- 31	2007. 6

付録：研究成果の発表

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
不確実性を考慮した農薬の確率論的生態リスク評価-水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準の評価スキームへの適用-	永井孝志, 稲生圭哉, 横山淳史, 岩船敬, 堀尾剛	日本農薬学会講演要旨集	32	49	2008. 3
シュンギクにおける農薬残留濃度予測	島本文子, 稲生圭哉	日本農薬学会講演要旨集	32	49	2008. 3
わが国の農耕地における窒素・リン酸・重金属類のフローとその環境負荷の評価	三島慎一郎	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	223	2007. 8
農耕地における栄養塩類及び重金属類の収支とその環境影響評価	三島慎一郎	第6回日本農学進歩賞受賞者講演要旨集(財)農学会)		23- 26	2007. 4
黒ボク土農耕地から流出する窒素の溶出リスク評価法の開発	遠藤明, 三島慎一郎	平成19年度農業農村工学会大会講演会講演要旨集		656	2007. 9
有限要素法汎用ソルバーを用いた黒ボク土農耕地からの窒素の流出量算定	遠藤明, 三島慎一郎	システム農学会2007年度春季シンポジウム・一般研究発表会講演要旨集	23 別1	20- 21	2007. 4
日本と韓国での農業生産に伴う過剰窒素の発生量とその要因	三島慎一郎, 李淵	日本土壌肥料学会講演要旨集	53	17	2007. 8

付 録

研究協力・交流

(1) 国外での研究交流等

氏名	出張国	活動内容	期 間
大倉利明	大韓民国（ソウル）	国際環境影響評価学会出席	19. 6. 4～ 9
中井 信	ロシア	土壌調査・モノリス採取	19. 7. 12～27
三島慎一郎	ポルトガル（コインブラ）	生態系と持続的発展に関する会議	19. 9. 3～ 7
神山和則	中国（南京）	2007 「日本と中国の農業生態系流域における窒素循環およびその水質に及ぼす影響に関する比較研究」研究打合せ	19. 9. 3～ 7
谷山一郎	中国（大連）	環境保全及び環境低負荷型社会構築のための研究における農業環境イベントリーの役割についての情報交換	19. 12. 12～16
中谷至伸	イギリス（ロンドン）	英国自然史博物館における昆虫イベントリーの調査	20. 1. 20～27

(2) 依頼研究員

氏 名	所 属	研究課題	期 間
山田将樹	長崎県病害虫防除所	チョウ目、カメムシ目および微小昆虫類の分類・同定法の修得	19. 9. 25～ 12. 22

(3) 技術講習生

氏 名	所 属	研究課題	期 間
中村嘉孝	東京農工大学大学院農学府	最新の土壌調査法・分類法	19. 8. 6～ 8. 31
久田紀夫	和歌山県農林水産総合技術センター農業試験場	土壌モノリスの調整技術の修得	19. 9. 5～ 7
玉嶋勝範	大分県農林水産研究センター安全農業研究所	モモンクイガの同定法および資料収集	20. 2. 28

(4) 講師派遣等

氏 名	講師派遣の内容	依頼者	期 間
中井 信	土壌調査法現地研修会講師	土壌保全調査事業全国協議会	19. 10. 4～ 5
大倉利明	”	”	”
小原 洋	”	”	”
大倉利明	土壌モノリス採取法現地指導	和歌山県農業試験場	19. 8. 8～10

氏名	講師派遣の内容	依頼者	期間
大倉利明	環境学習会講演	生活クラブ生協東京	19. 7. 13
大倉利明	国立保健医療科学院	国際コース「土壌環境」研修 講師	19.12. 5

(5) 外部委員会委員等

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
谷山一郎	農林水産省	「産学官連携による食料産業等 活性化のための新技術開発事業 研究推進会議委員	18. 4. 1～
谷山一郎	農林水産省関東農政局	「土壌保全対策事業関東ブロッ ク会議」専門委員	18. 4. 1～
中井 信	〃	〃	〃
大倉利明	〃	〃	〃
小原 洋	〃	〃	〃
谷山一郎	農林水産省東北農政局	「土壌保全対策事業北海道・東 北ブロック会議」専門委員	19. 4. 1～
上田義治	農林水産省	共済組合筑波支部運営委員会	18. 4. 1～
中井 信	農林水産省中四国農政局	土壌保全対策事業中国・四国ブ ロック会議	19. 4. 1～
中井 信	青森県	放射性物質形態別移行調査検討 委員会	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省北陸農政局	「土壌保全対策事業北陸ブロッ ク会議」専門委員	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省近畿農政局	「土壌保全対策事業近畿ブロッ ク会議」専門委員	18. 4. 1～
大倉利明	農林水産省生産局	農地土壌炭素吸収量算定検討チ ーム委員	19. 4. 1～
大倉利明	土壌保全調査事業全国協議会	アドバイザー	18.10. 1～
大倉利明	農林水産省	環境こだわり農業環境影響調査 事業調査検討委員会	18. 4. 1～
大倉利明	群馬県	中山間資源循環検討会議外部委 員	19. 4. 1～
神山和則	〃	〃	〃
神山和則	農林水産省九州農政局	「土壌保全対策事業北陸ブロッ ク会議」専門委員	19. 4. 1～

(6) 学会委員等

氏名	学会名	委員等名	期間
谷山一郎	土壌物理学会	評議員	19. 4. 1～
中井 信	日本ペドロロジー学会	評議員	16. 4. 1～
大倉利明	日本ペドロロジー学会	幹事	16. 4. 1～
大倉利明	日本ペドロロジー学会	評議員	18. 4. 1～
神山和則	日本土壌肥料学会	第5部門長	18. 4. 1～
神山和則	日本ペドロロジー学会	会計監査委員	18. 4. 1～
神山和則	日本土壌肥料学会	欧文誌編集委員	18. 4. 1～
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	学術用語委員会	15. 1. 1～
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	農林有害動物・昆虫名鑑編集委員会学 会用語委員会	13. 5. 1～
吉松慎一	日本鱗翅学会	将来計画特別委員会	17. 12. 10～
中谷至伸	日本昆虫学会	電子化推進委員	13. 4. 1～

(7) 同定依頼・技術相談等

件名	件数
土壌モノリス作製法・展示に関する相談	2
土壌採取・分析法に関する相談	5
土壌特性に関する相談	18
土壌関係取材	2
昆虫同定	17
昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	2
昆虫標本に関する相談	1

(8) その他

件名	期間
農業環境技術研究所一般公開農業環境インベントリー展示館公開	19. 4. 20
つくばちびっ子博士2007－昆虫採集教室	19. 7. 25
つくばちびっ子博士2007－農業環境インベントリー展示館公開	19. 8. 8, 8. 22
アグリキッズ科学教室「木枯らしの中の昆虫を探そう」	20. 2. 10～11

付 録

在職者とその動き

氏 名	職 名	期 間	備 考
谷山 一郎	センター長	18. 4. 1～	
井上 恒久	上席研究員	19. 4. 1～20. 3. 31	定年退職
上田 義治	〃	18. 4. 1～20. 3. 31	情報システム専門役
中井 信	〃	18. 4. 1～	
神山 和則	〃	18. 4. 1～	
小原 洋	主任研究員	19.10. 1～	
吉松 慎一	〃	18. 4. 1～	
中谷 至伸	〃	18. 4. 1～	
大倉 利明	〃	18. 4. 1～	
三島 慎一郎	〃	18. 4. 1～20. 3. 31	物質循環研究領域
稲生 圭哉	〃	18. 4. 1～	
白戸 康人	〃	20. 1. 1～	
宮崎 昌久	契約職員（専門員）	18. 4. 1～	
遠藤 明	特別研究員	19. 4. 1～	
高田 裕介	〃	19. 4. 1～	
齋藤 猛雄	契約研究員	18.11.13～	
増田 康代	契約職員	18. 4. 1～	
渡辺 寿美子	〃	18. 4. 1～	
木代 玲子	〃	18. 9.25～	
伴 とよ	〃	18. 4. 1～20. 3. 31	
井澤 眞知子	〃	18. 4. 1～	
木内 憲子	〃	19. 5. 1～	
赤坂 泰基	〃	19.12. 1～	
前原 一慶	〃	19.11. 1～	
中村 加代子	〃	20. 1.15～	
是永 知子	派遣職員	19. 8. 1～20. 2. 28	

(3ヶ月以上在籍者)